

TPPが、 ボクたちの 問題なんだって ホント？

環太平洋経済連携協定

知って
いましたか？

TPPはあなた自身、そして大切な 子どもたちの未来に関わる問題です。

TPP(環太平洋経済連携協定)は、農業や輸出産業だけの問題ではありません。食品の安全性・医療・雇用・食料安全保障など、いろいろな分野に影響し、あなた自身の生活や、子どもたちの未来にまで関わってくるのです。このTPPの問題を自分たちの問題として、いま一度真剣に考えてみる必要があるようです。

今までと同じ医療が
受けられるの？



食料の自給率が
下がるんじゃないの？



TPPへ参加すれば、
例えばこんな不安が広がります。

地域の雇用は
大丈夫なの？



食の安全・安心は
どうなるの？



JAグループ広島は、皆様と一緒に考えていきます。





えっ、TPPは 私たちの生活に こんなに 影響するの？

環太平洋経済連携協定

ご存知
でしたか？

TPPは私たち自身の生活の、 さまざまな部分に影響を及ぼします。

TPP（環太平洋経済連携協定）は、農業や輸出産業だけの問題ではありません。食品の安全性・医療・雇用・食料安全保障など、私たちの生活の身近な部分にまで影響してくるのです。その一歩が後戻りの出来ない一歩にならないように、TPPの問題をみんなで一緒に真剣に考えましょう。

雇用でも

輸入増による国内雇用の減少や、デフレの悪化・賃金の引き下げなど。



食料の自給率でも

国内農業の大打撃による生産量の激減、食料自給率は39%から13%に。

医療でも

医療費の高騰、不採算地域からの病院の撤退、地域医療の崩壊など。

TPPは
こんなところまで
影響を与える
おそれがあります。

国家の安全保障でも

農業・地場産業の衰退により、離島の過疎化・無人化が進み国防費が増加。

食の安全・安心でも

残留農薬や収穫後使用農薬の規制緩和、遺伝子組み換え食品の輸入拡大など。



世界の飢餓や環境面でも

穀物需給のバランスが崩れアジアでは飢餓が、そのための耕地開発で環境や生態系にも悪影響。



JAグループ広島は、皆様と一緒に考えていきます。



復興より先に、やるべきことはなにかと思おう。

この写真は、平成23年9月28日に、

宮城県気仙沼市最知南で撮影されました。

JAグループは、田畑の復旧作業を全力で進め、

稲穂が実った水田があるものの、

それは、まだごく一部に過ぎません。

岩手県、宮城県、福島県の3県で、

平成24年度までに、営農が再開できると見込まれている

農地の面積は、農林水産省の試算で、わずか37%。

復興が、はじまったばかりの今、

農業をはじめ、地域の暮らしを大きく変えると言われる

TPP交渉への参加をすべき時なのでしょうか。

JAグループは、皆様と一緒に考えていきます。

<http://www.ja-hiroshima.or.jp/>



大地がくれる絆を、もっと。 JAグループ広島